

豊田合成株式会社

事業者紹介

自動車のインストルメントパネルやコンソールなど内外装部品、各種エアバッグなどのセーフティシステム製品等、樹脂やゴムを中心とした部品を開発・生産する豊田合成株式会社。社是である「限りない創造 社会への奉仕」に基づき、事業活動を通じて環境・社会課題解決に貢献することを目指しています。

水素社会実現に向けた水素タンクや、LED 技術を応用した除菌製品なども手がけるほか、廃棄物を減らす取り組みの一環としてアップサイクル製品の企画・販売にも注力。こうした活動は従業員一人ひとりの環境意識の向上にもつながっています。



「Re-S ショップ」店舗外観

アップサイクルへの取組のきっかけ

豊田合成株式会社が手がけるアップサイクル製品のブランド名は「Re-S（リーズ）」。これには Re-Born（リボーン）、Re-Use（リユース）など“Re-”がもつ意味を複数組み合わせ、持続可能な社会に貢献したいとの思いが込められています。扱うのは、自動車のエアバッグ生地やハンドルに使用する本革などの端材を活用した商品です。



エアバッグに使われる生地

同社では 2018 年に社内で環境負荷低減と従業員の環境意識向上の取り組みとして「もったいない活動」をスタートしましたが、その一環として材料調達から廃棄までの生産活動で発生する廃棄物を利用して取引先などに配布するノベルティグッズを製作。それが「Re-S」の生まれるきっかけとなりました。その後 2020 年 1 月に専任チームを発足、9 月に販売を開始しました。

商品の企画・開発をはじめ、販路や協力工場の開拓も手探りの状態から始めましたが、現在販売する商品は、素材の特徴を生かしながらもデザイン性の高いものが多く消費者からも好評です。

さらに 2024 年には衣類の染色や加工を行う企業とコラボレーションし、エアバッグ端材の新たな染色工法を採用。これにより、染色できるエアバッグ生地量が大幅に増加しました。また淡いペールカラーなど色のバリエーションも豊富になりました。



新たな染色技術を施したエコバッグ。小さく折りたためます。エアバッグカラーポートⅠ／アップサイクルエアバッグ

同社ではアップサイクル活動を持続的に行うため、商品の付加価値向上や異業種とのコラボレーションを今後も積極的に進める予定です。最終的に「アップサイクルによって、全ての廃棄物を使い切りたい」という思いをもって活動を推進しています。



金城学院大学コラボ AB's 上履き入れ
アップサイクルエアバッグ



エアバッグとシートベルト、消防ホースの端材の組み合わせ。消防ホースも同社の製品。エアバッグカラーポートⅢ／アップサイクルエアバッグ×消防ホース

販売先について

Re-S ショップ

名古屋市西区那古野 2-8-11

NAGONO WORK BAR & SAUNA 1F

Re-S オンラインショップ「Re-S ショップ」

<https://res00.base.shop>

ショッピングモールなどの期間限定ポップアップショップやトヨタ産業技術記念館（名古屋市西区則武新町 4-1-35）

などでも販売。